

脳動脈瘤クリッピング術における硬膜閉鎖時 MEP 低下症例の検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

脳動脈瘤の手術では、手足を動かす神経が正常にはたらいっているかを確認するために、手術中に「MEP（運動誘発電位）」というモニタリング検査を行うことがあります。これは、手足を動かす神経の状態を手術中に見守るための検査です。

当院では、手術中の神経の状態に問題がないにもかかわらず、手術の最後に傷を閉じる際に MEP の値が低下する患者さんがいることを経験しています。MEP の値は神経の状態だけでなく、血圧や体温、麻酔の影響などによっても変化することがあります。

この研究では、手術の最後に MEP の値が低下した患者さんと、低下しなかった患者さんの診療情報を比較し、どのような要因が関係しているのかを調べます。また、MEP の値の変化と手術後の経過との関係についても調べます。

この研究では、すでに診療の中で得られている情報を使用します。そのため、研究のために新たな検査や追加の負担をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

済生会熊本病院で脳動脈瘤クリッピング術を受け、術中に MEP モニタリングを実施された方

使用する試料・情報

年齢、性別、身長、体重、BMI、既往歴、術前麻痺の有無、緊急・予定手術の別、脳動脈瘤の病変部位、術中バイタル、麻酔時間、麻酔方法、麻酔薬および鎮痛薬の種類・投与量、吸入麻酔薬濃度、吸入麻酔 MAC 比、MEP 振幅および刺激条件、再刺激の状況、術後神経学的合併症、退院時 mRS

使用開始予定日：2026 年 9 月 8 日

研究予定期間

2026 年 9 月 8 日～2027/3/31

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 臨床工学部門 杉本あいみ

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することができます。

問い合わせ先	済生会熊本病院 臨床工学部門 杉本あいみ 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)
---------------	---